



第24期報告書

2013年1月～2013年12月

NVC Flash

特集

期待の新製品

担当エンジニアに聞く

株主の皆様へ

業績ハイライト・当期の業績・
次期の見通し

会社概要／株式情報

NVC NETWORK VALUE COMPONENTS
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

証券コード 3394



パートナーとの協業推進及び 技術力の強化を通じて、 受注拡大に取り組んでまいります。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第24期（2013年12月期）の事業並びに決算の状況につきましてご報告申し上げます。

当期におきましては、新製品の立ち上げに取り組み、商品ラインナップの充実化を図りましたが、低採算案件の増加、円安の影響、子会社の不振等があり、売上高は前期を下回り、特別損失の計上により赤字決算という結果に至りました。

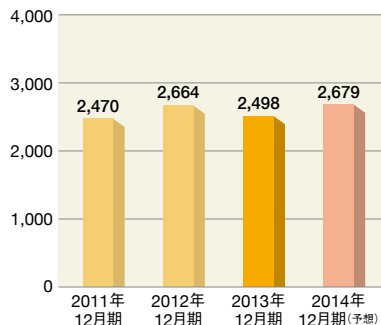
次期につきましては、パートナーとの協業推進及び技術力強化を通じて受注拡大に努めるとともに顧客様に対する信頼獲得の実現を図り、着実に成果を上げてまいり所存です。何卒ご理解を賜り、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 渡部 進

業績ハイライト

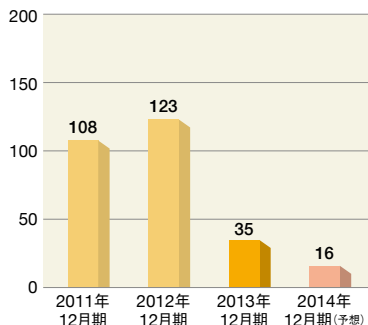
売上高

（単位：百万円）



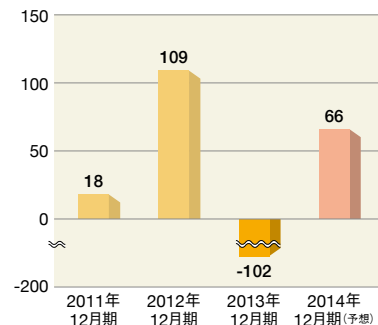
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益

（単位：百万円）



当期の業績

新製品の立ち上げにより商品ラインナップの充実化を図るも、子会社の不振により減収。特別損失の計上により当期純損失を計上。

当社が属するネットワーク市場におきましては、標的型攻撃、DDoS攻撃等の新たな脅威やスマートフォンやタブレット端末の普及やクラウドサービスの進展によるIPトラフィック等の増加等、ネットワーク上での様々な課題に対する取り組みが着実に進展しております。

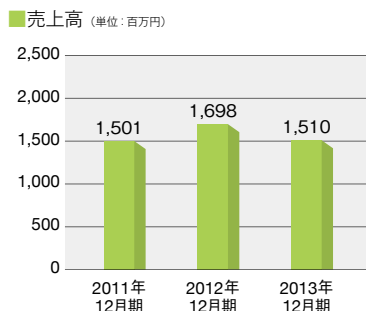
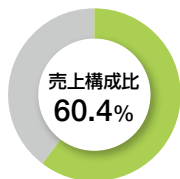
このような状況の中、当社は、当期に取り扱いを開始したニュータニックス社の仮想インフラプライアンス製品やニクサン社のハイエンド・リアルタイム・ネットワーク監視ソリューション等の新製品の立ち上げに積極的に取り組みました。また、ノビフロー社のオープンフロー1.3スイッチングソリューションの取り扱いを新たに開始し、商品ラインナップの充実化を図りました。しかしながら子会社の株式会社イノコスの不振により、売上高は前期を下回りました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、低採算案件の増加、円安による売上総利益率の低下、イノコスの不振による売上総利益の減少をカバーするまでには至らず、営業利益及び経常利益は前期を大幅に下回りました。

事業部門別

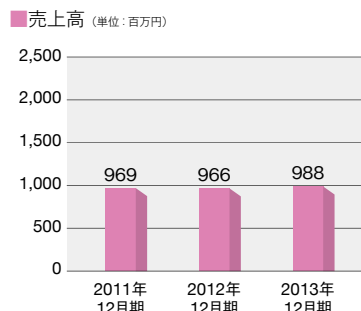
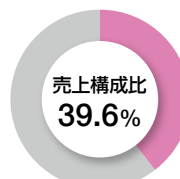
ネットワークソリューション事業

2次店契約の商品の落込みが大きく、前期を下回りました。



ネットワークサービス事業

マネージドVPNサービスやネットワーク構築等のサービス及び保守が堅調に推移、前期を上回りました。



当期純利益につきましては、予定していた保有上場株式の売却を見送った一方で、投資有価証券評価損、貸倒引当金の特別損失を計上したため、赤字となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は2,498百万円（前期比6.2%減）、営業利益は57百万円（前期比53.7%減）、経常利益は35百万円（前期比70.9%減）、当期純損失は102百万円（前期当期純利益109百万円）となりました。

次期の見通し

新製品の投入を継続、パートナーとの協業推進及び技術力強化を通じて受注拡大を図り、また、自社サービスを推進してまいります。

当社グループでは、市場のニーズと既存事業とのシナジーを踏まえつつ、引続き先端的なネットワーク関連商品の市場への投入を慎重かつ積極的に進めると共に、パートナーとの協業推進及び技術力強化を通じて、プロジェクト単位での受注拡大を図り、また、自社サービスを推進してまいります。

以上により、平成26年12月期の当社グループ連結の業績見通しにつきましては、売上高2,679百万円、営業利益26百万円、経常利益16百万円、当期純利益66百万円を見込んでおります。



期待の新製品 担当エンジニアに聞く

「クラウド」「モバイル」「セキュリティ」「サービス」の4分野へのフォーカス

当社は「クラウド」「モバイル」「セキュリティ」分野にサービス分野を含めた4分野に事業をフォーカスしております。当期におきましては、新たに海外3社と販売代理店契約を締結する等、新製品の投入を積極的に行ってまいりました。ここでは、当社の製品ラインナップの中から今後期待の3つの新製品を取り上げ、担当エンジニアに聞きました。



モバイルでの報告業務をサポートする "SmartAttack"

オペレーション部 SE チーム
中津川 英広

モバイル対応の業務報告アプリ

写真付き報告書を現場で作成、
本部ではリアルタイムに内容確認



製品の説明と特長

G-Smart社のSmartAttackはiPhone・iPad及びAndroid搭載のスマートフォンやタブレット等を使った社外作業の指示・報告ができるASPサービスです。

本部から現場作業員へ作業指示を発行し、現場作業員がその指示に基づいた作業実施後に作業報告を送信すると、作業報告書が自動作成され、本部ではリアルタイムに内容を確認できます。

作業報告の内容には、カレンダー、地図、GPS位置情報、写真等を取り込むことができ、現場及び管理者双方に大変便利なものとなっています。

市場の要望と今後の展開

今日ではスマートフォン、タブレットの社外利用が一般的になってきており、企業においては外回り業務におけるこれらモバイル端末の一層の業務利用が求められてきています。SmartAttackは写真付き報告書を現場で即座に作成できることに加え、必要に応じて報告書式を自由に作れること等、業務を効率化できる本格的なアプリケーションとなっています。

本製品を、販売店の店舗の展示棚を巡回するラウンダー業務や保険業における現場査定業務、設備・保守点検業務等の幅広い分野に紹介し、市場での啓蒙を進めたいと考えています。

クラウドを実現する仮想化技術の製品 "Nutanix"

エンジニアリング部 第2グループ第2チーム

工藤 俊介



製品の説明と特長

Nutanix社の Virtual Computing Platform 製品はサーバーとストレージを統合したスケールアウト型クラウド仮想インフラアプライアンスです。

仮想環境において、従来ボトルネックになっていたストレージシステムを分散ファイルシステムを利用することにより、仮想デスクトップインフラやサーバー仮想化、プライベートクラウド、ディザスタリカバリ等の、クラウド基盤に最適な次世代仮想インフラを提供します。

サーバリソース、ストレージシステムを容易に構築できるスケールアウト型となっていますので、小さな規模から始め、大きな規模へと拡張しても同一の製品で容易に対応できます。

ストレージシステムで利用している分散ファイルシステムは、Google File System(GFS)と同様のスケールアウト性を実装していますので、すべてのストレージを単一のストレージプールとして提供します。

また仮想化環境利用時のボトルネックとなる、高価なストレージによる大規模な導入及び拡張が不要になりますので、ストレージの導入コスト、導入による効率の低下を防ぎ、仮想化基盤のコストを削減することができ、優れた経済性が発揮されます。

市場の要望と今後の展開

クラウドサービスの進展の結果、クラウド関連マーケットではプライベートクラウドやデスクトップ仮想化等が急激に伸びています（2013年法人向けクライアント端末における仮想化導入率は24.1%、2017年には45.5%まで拡大）＊。仮想化に伴い、データセンターの更新や増設にはおびただしい作業が発生しますが、この作業を、いかに期間を短縮し、効率よく行っていかかが問われます。Nutanixはスケラブルな仮想インフラを簡単に構築利用できますので、投資効果を高め、ITリソースのより良い運用が図れます。

本製品は、高速なストレージ性能を求められる仮想デスクトップ関連市場、ストレージのボトルネックが見られるサーバ仮想化市場、プライベートクラウド市場、サービス継続性を求めるディザスタリカバリ関連市場等で広く導入が見込まれています。当社では、これらの市場に向けた積極的な提案を行っていきたいと思います。

クラウド仮想化ソリューション

サーバーとストレージを統合したスケールアウト型
クラウド仮想インフラアプライアンス



＊IDC社「国内クライアント仮想化市場予測」調べ

リアルタイムのネットワーク監視ソリューション "NIKSUN"

エンジニアリング部 第1グループ第1チーム
成澤 将康



製品の説明と特長

NIKSUN製品は、「ネットワークレコーダ」として、ネットワークに流れるすべての通信データを常時収集し、保管します。保管された情報は、監視カメラのようにリアルタイム、もしくは、特定の時間にさかのぼって検索、閲覧することができ、ネットワークでどのような通信が行われていたかを外部から丸見えにすることができます。

つまりは、ネットワークを利用しているユーザ個々が行っているWeb閲覧や電子メール、チャット等の通信をすべて記録する機能を提供するのが本製品の特長です。

さらに、保存されたデータは、内部で高速な検索を実現するためにメタデータ化されたデータベースとしてインデックス情報（検索情報）が保存されます。これにより、高速な分析が可能となり、ネットワークの異常をリアルタイムで検知することで、サイバー攻撃や不正侵入をすぐさま発見し、被害の防止、抑制、特定をすることができます。

市場の要望と今後の展開

昨今においては、大企業のみならず多方面な企業、団体において、情報漏えい事件の発生が見られるなか、個々の企業や団体等で専門の知識や対応が難しいのが、この情報漏えい対策と認識されています。

そのような環境において、NIKSUN製品により社内ネットワークの常時監視、可視化をし、リアルタイムでのネットワーク監視体制を設けることで、お客様の情報漏えい対策の一端のご提案ができればと考えています。弊社としては、製品の導入だけでなく、導入後の運用のサポート、さらには、弊社によるセキュリティ監視サービスを提供することで、さらなる展開を考えています。

まずは、このような対策に敏感な大手企業、大学、行政のお客様をターゲットとして展開を進めていき、ネットワーク監視の重要性を広く普及させたいと考えています。

リアルタイムのネットワーク 監視ソリューション

ネットワーク上で流れる情報を即時にキャプチャし、同時に調査、抽出、関連付け及び保存をします。



新日鉄住金ソリューションズとの業務提携による事業基盤の強化

業務提携の概要

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（以下、当社）と新日鉄住金ソリューションズ株式会社（以下、新日鉄住金ソリューションズ）は、2013年5月14日に業務提携契約を締結いたしました。当社と新日鉄住金ソリューションズは業務提携契約を締結することで、双方の事業基盤の強化、発展を図ってまいります。

業務提携の内容

当社と新日鉄住金ソリューションズは、ITのサービス化に伴い重要性が増しているネットワーク及びネットワーク・セキュリティ分野において、互いに得意分野の知見を持ち寄り、本分野における新たなソリューションの創出に取り組んでまいります。

業務提携のイメージ

新しいソリューション開発による競争力の強化

NVC

ネットワークバリューコンポネンツ

多岐の製品ポートフォリオ
製品に関する専門知識・スキル

ネットワーク
及び
ネットワーク・
セキュリティ
分野

コンサルティングから構築、
運用・保守に至るまでシステム
ライフサイクルをトータル
でサポート



NS Solutions

新日鉄住金ソリューションズ

新日鉄住金ソリューションズ株式会社の概要

名 称	新日鉄住金ソリューションズ株式会社
所 在 地	東京都中央区新川二丁目20番15号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 謝敷 宗敬
事 業 内 容	・経営及びシステムに関するコンサルテーション ・情報システムに関する企画・設計・開発・構築・運用・保守及び管理 ・情報システムに関するソフトウェア及びハードウェアの開発・製造並びに販売及び賃貸 ・ITを用いたアウトソーシングサービスその他各種サービス
資 本 金	129億円
設 立 年 月 日	昭和55年10月1日

会社概要

会社概要（2013年12月31日現在）

商号	株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
本社設立	神奈川県横須賀市小川町14番地ー1 1990年4月
資本金	369,981,550円
従業員	連結89名（単体77名）
主な事業内容	コンピュータネットワークをベースとした ●製品の企画、開発、輸入、販売 ●コンサルティング ●システム設計、システム設定・設置 ●システム監視、システム管理、保守・メンテナンス ●運用サービス

役員（2013年12月31日現在）

代表取締役	渡部 進 （わたなべ すずむ）
取締役	渡部 美津子 （わたなべ みつこ）
取締役	太田 祐樹 （おおた ゆうき）
取締役	寺田 賢太郎 （てらだ けんたろう）
取締役	荒井 祐二 （あらい ゆうじ）
常勤監査役	倉本 實 （くらもと みのる）
監査役	安田 正敏 （やすだ まさとし）
監査役	倉田 勲 （くらた いさお）

株式情報

株式の状況（2013年12月31日現在）

発行可能株式総数	32,000株
発行済株式の総数	9,521株
株主数	1,037名

（注）当社は2014年1月1日付けにて株式1株につき100株の株式分割を行い、単元株数を100株とする単元株制度を導入いたしました。

大株主

株主名	持株数	持株比率
渡部 進	3,419	36.22%
有限会社シークス	1,460	15.47%
新日鉄住金ソリューションズ株式会社	300	3.17%
渡部 美津子	247	2.61%
日本証券金融株式会社	138	1.46%
個人株主	103	1.09%
個人株主	100	1.05%
寺田 賢太郎	95	1.00%
個人株主	85	0.90%
個人株主	79	0.83%

（注）1. 当社は自己株式84株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式（84株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.nvc.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。